

# 1. 新規ドキュメントの作成 (Ctrl+n)

Illustrator を起動し、「新規」を押すと右のようなウィンドウが開くはず。ここでプリセットが行える。

サイズと縦横以外は変更する必要は基本的に無い。サイズに関しても後でアートボードツールを使えば容易に変更できるので、深く考える必要もない。

諸々の設定が終了したら「作成」を押せば新規ドキュメントの作成が完了する。

## 2. 保存・pdf書き出し (Ctrl+s, Ctrl+Shift+s)

保存は当然 Ctrl+s で可能。

pdf書き出しは、保存後に「別名で保存」でファイルの種類を「.pdf」にして保存すれば良い。そのファイルの pdfを開いた状態での保存は出来ないので注意。

## Illustrator を使うにあたって

この資料を必要とする人は、きっと Illustrator を使いたくても難しそうで手が出せないという人だろうが、ものを作る最低限の技術は誰でも簡単に手に入れられると思う。

結局、編集ソフトは「慣れ」と「根気」と「誤魔化し」なので、沢山使って、分からなければ自分で調べ、自分の持つ道具を駆使してどうすれば自分のしたいデザインが実現できるのかを考えるのが、上達の一番の近道だと思う。

ここに書いてあることを全て使えるようになれば、この資料も自分で作れるはずだから、ぜひこれを目標に頑張ってください。(作者より)

Illustrator を使う

## 1. 選択ツール (v)

オブジェクト全体を選択し、移動や回転、変形等を行うことができる。一番よく使うやつ。

## 2. ペンツール (p)

直線や曲線を描いてオブジェクトを作成することができる。

曲線を描くのには少し練習が必要かもしれない。

ちなみに右下の和風の模様（籠目）もペンツールで作成した。

## 3. 文字ツール (t)

文字列やテキストエリアを作成し、テキストを編集することができる。

Word のテキストボックスと同じ。

縦書きにしたり、曲線に沿って文字を書けたりもする。

## 4. アートボードツール

アートボードの選択や作成、サイズの変更などが出来る。

複数のアートボードに分割すると拡大印刷をすることができる。

ここで、ツールバーの編集や新たなツールの追加等を行える。

## 5. ダイレクト選択ツール (a)

オブジェクトのアンカーポイント等を選択出来る。微調整によく使う。便利だけど中級者向けかも。

## 6. 長方形ツール

様々な長方形を作成出来る。

このほかにも、楕円形ツールや多角形ツールがある。

基本的な図形はこれらの組み合わせで作れるので便利。

## 7. スポイトツール (i)

オブジェクトのカラー、文字、アピランスの属性を抽出し、適用することができる。

「写真のこの部分の色」等を抽出出来るし、テキストに適用すれば「この部分と同じ色・サイズ・フォント」にすることが出来る。作業効率爆上げツール。

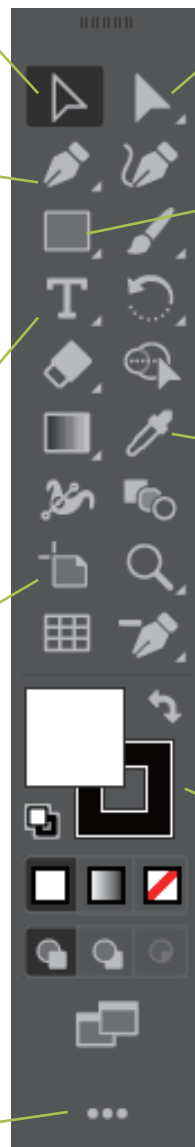
## 8. カラーピッカー

「塗りつぶし」と「線」のカラー変更を手作業ですることが出来る。

ダブルクリックで色を変更できる。また、右上の矢印を押すと「塗りつぶし」と「線」の色を入れ替えられる。

原色を使うならもっと楽な方法もあるが、やはりカラーピッカーを使うべき。

ちなみに  は色なしという意味。



## 1. 文字パネル

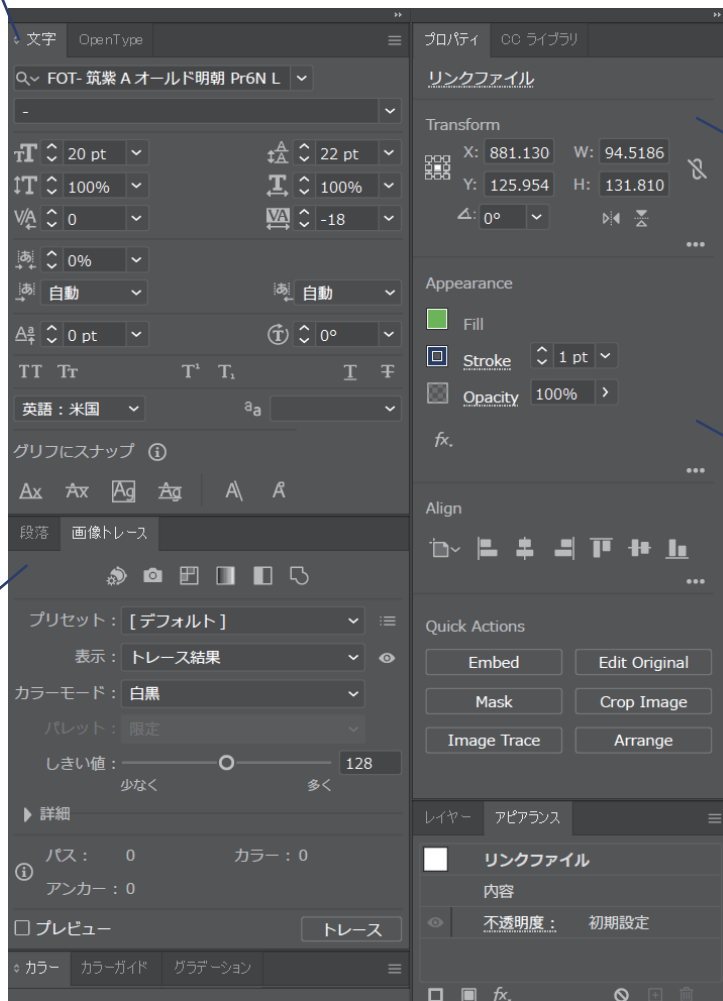
フォント関係全般の操作が出来る。

頻繁に使うので、実際にいじってみて覚えるのが手っ取り早い。

## 4. 画像トレース

画像をベクターアートに変換できる。

中級者向けなのでパネルに追加しなくても良いかも。



## パネルとは。

パネルは絵画のキャンバスのもの。オブジェクトの微調整を行うことが出来る。

アプリケーションバーの「ウィンドウ」から追加することができ、くっ付けたり独立させたり自在にカスタマイズが可能。

「プロパティ」「文字」「段落」は必須。

## 2. 変形

ドキュメントの位置、大きさ、角度を正確に数値入力出来る。

何気に役立つが、感覚で作る人にはあまり関係がない。

## 3. アピアランス

「塗り」と「線」はカラーピッカーと同じ感覚で使える。また、オブジェクトの不透明度を調整出来る。

「線」の部分をクリックすると細かな線の設定が出来る。

# 1. アウトライン化 (Ctrl+Shift+o)

フォントの「アウトライン化」を上手く使えば、作業時間の短縮や予期せぬエラーを防げる。

フォント＝文字情報

アウトライン化したもの＝オブジェクト（図形）情報

なので、アウトライン化すれば別の PC で開いた際に対応していないフォントでも問題なく表示出来る。

また、アウトライン化したフォントは図形扱いなので、フォントサイズ等細かな数値を使うことも無く、選択ツールで簡単にサイズ等を調整できる。

斜めにすることも容易に可能なので、例えば写真のようにしたいときに使われる（部分的な色の反転なども出来る）。右の「作業効率爆上げ知識」もアウトライン化している。



## 2. クリッピングマスク

オブジェクトを様々な切り抜くことが出来るもの。

1. 下に切り抜きたい画像等を置いて、その上にマスクとなるオブジェクトを置く。
2. 2つを同時選択して右クリックし「クリッピングマスクを作成」を選択

の2つの手順で出来る。

単一パス、複合パス、文字がマスクとして使用できる。

※複数同時選択…Shift キーを押しながら順にオブジェクトを選択

※複合パス…2つ以上のオブジェクトを選択した状態で Ctrl+8 を押すと1つのオブジェクトになる。重なった部分は透明に抜けて表示される。

（ただのグループ化は Ctrl+g で可能）



作業効率爆上げ知識